

漆芸コースの合評会



金沢学院大学美術化学部の学生と専攻科美術工芸専攻生の卒業・修了制作単位認定審査合評会は一月三十日、6号館で行われました。大樋長左衛門学部長をはじめ同学科、専攻科の教員が学部・専攻科合わせて二十二人の作品について話し、仕上げに向けたアドバイスを送りました。

美術工芸学科・専攻科で合評会

卒業・修了制作の出来栄は



日本画コースの合評会

金沢学院大学美術化学部の学生と専攻科美術工芸専攻生の卒業・修了制作単位認定審査合評会は一月三十日、6号館で行われました。大樋長左衛門学部長をはじめ同学科、専攻科の教員が学部・専攻科合わせて二十二人の作品について話し、仕上げに向けたアドバイスを送りました。

発行・広報室

児童と「茶色の小瓶」を合奏する金沢学院東高校吹奏楽部員と犀川小学校



東高吹奏楽部 犀川小児童と交流

「茶色の小瓶」を合奏 個別に楽器の指導も

金沢学院東高校の吹奏楽部員は一月十九日、地元の金沢市立犀川小学校を訪問し、四年生の児童四十五人と合奏をして交流しました。



児童にトランペットの吹き方を教える東高吹奏楽部員

生徒たちは初めに、映画「となりのトトロ」挿入歌の「さんぽ」を披露しました。このあと、ホルン、チューバ、トランペット、ドラムセット、大太鼓、小太鼓の楽器に分かれ、順番をついた児童に吹き方や打ち方を個別指導しました。合奏曲はボピュラーの「茶色の小瓶」。鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴、アコーディオンなどを演奏する児童と、東高吹奏楽部員が息の合った演奏を響かせました。

印象良くする工夫学ぶ

短大1年生が就職模擬面接

金沢学院短期大学就職委員会と就職指導部は一月十七日、就職模擬面接を行いました。今春から本格的な就職活動を開始する一年生百八十人が参加し、ポイントとなる面接の心構えや印象を良くする工夫などを学びました。



模擬面接で指導を受ける短大生 = 4号館



25日に大学公開講座
金沢学院大学公開講座「川ととも生きる」は二月二十五日午後一時から石川県立美術館で開かれます。受講申込は二十日まで美術化学部受付076(2229)8775へ。

英語のなまりに触れる
金沢学院大学文学部国際文化学科の特別授業「世界の諸英語」は一月十七日、3号館で行われ、英語が母国語でない留学生のなまりのある英語に触れながら交流し、知識を深めました。金沢大学で学んでいるパングラデシユ、ドイツ、チエコからの留学生三人「写真左」が講師を務めました。それぞれ母国について紹介したあと、グループに分かれて、趣味などを話題にそれぞれの英語力で会話を楽しみました。